



## 直接接続の設定

この章は、次の内容で構成されています。

- [直接接続モード](#) (1 ページ)
- [Cisco UCS Manager との直接接続モードでの統合の要件](#) (2 ページ)
- [混合 VIC セットアップ用 Cisco UCS Manager 管理](#) (7 ページ)
- [混合 VIC セットアップ用 Cisco UCS Manager 管理](#) (8 ページ)
- [Cisco UCS Manager Management for Mixed VIC Set-up in C240 M5 Server](#) (8 ページ)
- [C220 M6 サーバーでの混合 VIC セットアップのための Cisco UCS Manager 管理](#) (10 ページ)
- [C240 M6 サーバの混合 VIC セットアップ用 Cisco UCS Manager 管理](#) (12 ページ)
- [C225 M6 サーバーでの混合 VIC セットアップのための Cisco UCS Manager 管理](#) (14 ページ)
- [C245 M6 サーバーでの混合 VIC セットアップのための Cisco UCS Manager 管理](#) (16 ページ)
- [管理接続ポリシーと接続モード](#) (18 ページ)
- [C シリーズ サーバと Cisco UCS ドメインとのクラスタ セットアップでの接続](#) (19 ページ)
- [直接接続モードのクラスタ セットアップの物理的な接続の図](#) (20 ページ)
- [C シリーズ サーバと UCS ドメインとの非クラスタ セットアップでの接続](#) (23 ページ)
- [Physical Connectivity Illustrations for Direct Connect Mode Non-Cluster Setup](#) (24 ページ)
- [SingleConnect から直接接続モードへの C シリーズ サーバの移行](#) (25 ページ)
- [デュアルワイヤ管理から直接接続モードへの C シリーズ サーバの移行](#) (25 ページ)
- [統合後の Cisco UCS Manager でのラックマウント型サーバの管理](#) (27 ページ)
- [サーバを Cisco UCS ドメインモードからスタンドアロンモードへ戻す方法](#) (27 ページ)
- [統合型サーバに関する特記事項](#) (28 ページ)

## 直接接続モード

リリース 3.1 以降、Cisco UCS Manager は、C シリーズ ラックマウント サーバをファブリック インターコネクタに直接接続するためのオプションをサポートしています。ファブリック エク

ステンダは不要です。このオプションを使用すれば、管理トラフィックとデータトラフィックの両方に単一のケーブルを使用して、Cisco UCS Manager で C シリーズ ラックマウント サーバを管理できます。



(注) FI とサーバを接続した後でサーバが検出されたときは、Cisco UCS Manager リリース 3.1 以降で使用可能な C シリーズ ソフトウェア バンドルを必ず更新します。

10G 接続で Cisco VIC 1385 および 1387 を使用している場合は、40G から 10G QSFP へのコンバータが必要になりますが、4 X 10 ブレークアウト Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブルおよび 4 X 10 アクティブ光ケーブル (OAC) を使用することはできません。

直接接続モードを使用する場合は、すべての Cisco UCS 管理対象アダプタを、ファブリック インターコネクトのサーバポートに接続する必要があります。[Cisco UCS Manager との直接接続モードでの統合の要件 \(2 ページ\)](#) に一覧表示されているサーバファームウェアを使用していることを確認してください。使用していない場合は、サーバファームウェアをアップグレードしてから、サーバを Cisco UCS Manager と統合してください。[C シリーズ サーバのファームウェアのアップグレード](#)を参照してください。

#### VIF の拡張性

ファブリック インターコネクトに直接接続されているサーバの各アダプタで許可される仮想インターフェイスの最大数については、次のマニュアルを参照してください。

[『Cisco UCS Configuration Limits for Cisco UCS Manager Guide』](#)

## Cisco UCS Manager との直接接続モードでの統合の要件

### クラスタ セットアップの要件

クラスタ セットアップで、C シリーズ ラックマウント サーバ と Cisco UCS Manager の直接接続の統合を作成するには、次の製品が必要です。

- Cisco UCS Manager リリース 3.1 以降を実行している Cisco UCS システム。
- 次の表に記載されているサポート対象の Cisco UCS C シリーズサーバのいずれかと対応する CIMC のリリースバージョン。

表 1: 直接接続モードの統合に最低限必要な Cisco IMC、BIOS、および Cisco UCS Manager のバージョン

サーバ	Cisco IMC	BIOS	UCS Manager
Cisco UCS C220 M4 サーバ (2.2.3 以降 が必要)	2.0(3d)	2.0.3	2.2(3a)

サーバ	Cisco IMC	BIOS	UCS Manager
Cisco UCS C240 M4 サーバ (2.2.3 以降 が必要)	2.0(3d)	2.0.3	2.2(3a)
Cisco UCS C460 M4 サーバ	1.5(7a)	1.5.7	2.2(2a)
Cisco UCS C220 M5 サーバ	3.1.1d	3.1.1i.0	3.2(1d)
Cisco UCS C240 M5 サーバ	3.1.1d	3.1.1h.0	3.2(1d)
Cisco UCS C240 SD M5 サーバ	4.1(2)	4.1(2)	4.1(2)
Cisco UCS C480 M5 サーバ	3.1(2b)	3.1.2a.0	3.2(2b)
Cisco UCS C125 M5 サーバ	4.0(1a)	4.0(1a)	4.0(1a)
Cisco UCS C480 M5 サーバ	3.1(2b)	3.1.2a.0	3.2(2b)
Cisco UCS C480 M5 ML サーバー	4.0(2a)	4.0(2a)	4.0(2a)
Cisco UCS C220 M6 サーバ	4.2(1)	4.2(1)	4.2(1)
Cisco UCS C240 M6 サーバ	4.2(1)	4.2(1)	4.2(1)
Cisco UCS C225 M6 サーバ	4.2(1)	4.2(1)	4.2(1)
Cisco UCS C245 M6 サーバ	4.2(1)	4.2(1)	4.2(1)



- 
- (注) Cisco UCS C220 M4、C240 M4、C220 M5、ならびにC240 M5 サーバの場合は、MLOM または VIC を使用して、SingleConnect または直接接続モードで Cisco UCS Manager と統合できます。

Cisco UCS C125 M5 サーバMLOM をサポートしていません。Cisco UCS C125 M5 サーバはスロット 2 のみで、VIC カードを配置する必要があります。

接続アダプタは、次のように選択されます。

- **MLOM のみ** : サーバに MLOM のみ搭載されている場合、接続アダプタはデフォルトで MLOM です。
- **MLOM および VIC アダプタ** : MLOM がデフォルトの接続アダプタです。
- **MLOM なし** :
  - Cisco UCS C220 M4/C220 M5 の場合は、直接接続統合用に Riser1 (スロット 1) に VIC を装着する必要があります。
  - Cisco UCS C240 M4/C240 M5 の場合は、直接接続統合のために、スロット 1、2、4、または 5 のいずれかに VIC を装着できます。



- 
- (注) VIC アダプタを使用する場合、統合用に 40 GB の接続を使用するには、MLOM を必ず取り外してください。



- 
- (注) • **MLOM および VIC なし** : SingleConnect も直接接続もサポートされません。
-



**重要** サーバーには、Cisco UCS VIC 1225、Cisco VIC 1227、Cisco VIC 1385、Cisco VIC 1387 MLOM、Cisco VIC 1455、Cisco VIC 1457 MLOM、Cisco VIC 1495、Cisco VIC 1497 MLOM、または Cisco VIC 1467 MLOM または、UCS VIC 15428 あるいは、UCS VIC 15238 を装着する必要があります。Cisco UCS VIC 1225 または Cisco VIC 1227 のファームウェアおよびブート ロードのバージョンは次の通りです。

- 推奨 : 2.1(0.457a)
- 最小限の要件 : 2.1(0.367e)

Cisco UCS VIC 1385 および 1387 MLOM の場合 :

- 推奨 : 4.1.1a
- 最小限 : 4.1.1a

Cisco UCS VIC 1455 および 1457 MLOM :

- 推奨 5.0(1a) 以降

Cisco UCS VIC 1495 および 1497 MLOM の場合:

- 5.0(2a) 以降を推奨

Cisco UCS VIC 1467 および 1477 MLOM の場合 :

- 5.0(1a) 以降を推奨

Cisco UCS 1225、Cisco UCS 1227、Cisco UCS 1385、Cisco UCS 1387、Cisco UCS 1455、Cisco UCS 1457、Cisco UCS 1467、および Cisco UCS 1477、Cisco UCS 1495、および Cisco UCS 1497

VIC は直接接続もサポートしています。Cisco UCS VIC を使用して直接接続している場合は、次の表に記載されているスロットのいずれかにカードを挿入してください。



(注) Cisco UCS Manager リリース 4.2 以降、M3 サーバーはサポートされていません。

表 2: 直接接続統合用の *Cisco VIC* スロット

サーバ	PCIe スロット
Cisco UCS C220 M4 サーバ	MLOM、1

サーバ	PCIe スロット
Cisco UCS C240 M4 サーバ	MLOM、1、2、4、5  (注) スロット2 および5 に GPU が装着されている場合、スロット1 および4 に VIC を配置します。
Cisco UCS C460 M4 サーバ	4、9、5、10
Cisco UCS C220 M5 サーバ	MLOM、1
Cisco UCS C240 M5 サーバ	MLOM、1、2、4、5  (注) スロット2 および5 に GPU が装着されている場合、スロット1 および4 に VIC を配置します。  スロットの組み合わせについては、 <a href="#">Cisco UCS Manager Management for Mixed VIC Set-up in C240 M5 Server</a> を参照してください。
Cisco UCS C240 SD M5 サーバ	MLOM、1、2
Cisco UCS C480 M5 サーバ	1、2
Cisco UCS C125 M5 サーバ	2
Cisco UCS C480 M5 サーバ	1、2
Cisco UCS C480 M5 ML サーバ	11、12
Cisco UCS C220 M6サーバ	MLOM、1、3
Cisco UCS C240 M6サーバ	MLOM、1、2、4、および5  (注) スロット2 および5 に GPU が装着されている場合、スロット1 および4 に VIC を配置します。
Cisco UCS C225 M6サーバ	MLOM、1、3

サーバ	PCIe スロット
Cisco UCS C245 M6サーバ	MLOM、1、2、4、および5 (注) スロット2および5にGPUが装着されている場合、スロット1および4にVICを配置します。

- Cisco UCS 6536 ファブリック インターコネクタまたは、Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクタ、Cisco UCS 6200 シリーズまたは 6300 シリーズ FI。ポートはサーバポートとして設定する必要があります。
- 1枚のカードに対して、少なくとも2本の10 Gb Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル。
- 25G および 40G アダプタに接続する 25G ケーブルと 40G SFP ケーブル
- Cisco UCS M6 ラック サーバは、Cisco UCS 6300 または 6400 シリーズ ファブリック インターコネクタでのみサポートされ、Cisco UCS 6200 シリーズ ファブリック インターコネクタではサポートされません。

#### 非クラスタ セットアップの要件

Cisco UCS Manager および C シリーズ ラック マウント サーバとともに、非クラスタ セットアップでサーバを統合する場合は、次のコンポーネントが必要です。

- 1 Cisco UCS 6536 ファブリック インターコネクタ、または Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクタ、Cisco UCS 6200 シリーズまたは 6300 シリーズのファブリック インターコネクタ。ポートはサーバポートとして設定する必要があります。
- カードごとに、少なくとも1本の10 Gb SFP ケーブル。両方のポートから同じ FI にカードを接続することはできません。

サーバ、Cisco VIC および FEX/IOM の互換性の詳細については、[Cisco UCS Manager リリース 4.2 のリリース ノートの Cisco UCS ファブリック インターコネクタサーバの互換性マトリックス](#) - リリース 4.2 (3) セクションを参照してください。

## 混合 VIC セットアップ用 Cisco UCS Manager 管理

Cisco UCS Manager は、Cisco UCS M6 サーバおよび混合 VIC カードによるセットアップを完全にはサポートしていません。

表 3: Cisco UCS Manager 管理

スロット	Cisco UCS Manager 管理
MLOMのみ。	MLOM がデフォルトの接続アダプタです。

スロット	Cisco UCS Manager 管理
MLOM アダプタと VIC アダプタの両方。	MLOM がデフォルトの接続アダプタです。
VIC アダプタのみ。MLOM はなし。	VIC アダプタは、単一接続または直接接続統合用にスロット 1 に取り付けることができます。

## 混合 VIC セットアップ用 Cisco UCS Manager 管理

Cisco UCS Manager は、Cisco UCS M5 サーバおよび 混合 VIC カードによるセットアップを完全にはサポートしていません。

表 4: Cisco UCS Manager 管理

スロット	Cisco UCS Manager 管理
MLOMのみ。	MLOM がデフォルトの接続アダプタです。
MLOM アダプタと VIC アダプタの両方。	MLOM がデフォルトの接続アダプタです。
VIC アダプタのみ。MLOM はなし。	VIC アダプタは、単一接続または直接接続統合用にスロット 1 に取り付けることができます。

## Cisco UCS Manager Management for Mixed VIC Set-up in C240 M5 Server

Cisco UCS Manager は、Cisco UCS C240 M5 サーバおよび 混合 VIC カードのによるセットアップを完全にはサポートしていません。

表 5: Cisco UCS Manager 管理

スロット	Cisco UCS Manager 管理
スロット 1 およびスロット 2 の両方が使用されています。 スロット 1 : Cisco VIC 1455 スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ	Cisco UCS Manager はスロット 2 のみを検出します。



スロット	Cisco UCS Manager 管理
<p>スロット 1 およびスロット 2 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC カードまたは Cisco VIC 1455 以外のサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC 1455</p>	<p>Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。</p>
<p>スロット 1 およびスロット 2 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC カードまたは Cisco VIC 1455 以外のサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。</p>
<p>1 つのスロットのみ使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>または</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager はどちらのスロットが使用されているか検出します。</p>
<p>スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 4 : Cisco VIC 1455</p> <p>スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager はスロット 5 のみを検出します。</p>
<p>スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 4 : Cisco VIC カードまたは Cisco VIC 1455 以外のサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 5 : Cisco VIC 1455</p>	<p>Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。</p>
<p>スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 4 : Cisco VIC カードまたは Cisco VIC 1455 以外のサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。</p>

スロット	Cisco UCS Manager 管理
<p>1つのスロットのみ使用されています。</p> <p>スロット4：Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>または</p> <p>スロット5：Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager はどちらのスロットが使用されているか検出します。</p>

## C220 M6 サーバーでの混合 VIC セットアップのための Cisco UCS Manager 管理

Cisco UCS Manager は、Cisco UCS C220 M6サーバおよび混合 VIC カードのによるセットアップを完全にはサポートしていません。

表 6: Cisco UCS Manager 管理

スロット	Cisco UCS Manager 管理
<p>スロット1、スロット2、およびスロット3が使用されています。</p> <p>スロット1：Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p> <p>スロット2：Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット3：Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager はスロット2のみを検出します。</p>
<p>スロット1、スロット2、およびスロット3が使用されています。</p> <p>スロット1：Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット2：Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p> <p>スロット3：Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager は全てのスロットを検出します。</p>

スロット	Cisco UCS Manager 管理
<p>スロット 1、スロット 2、およびスロット 3 が使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 3 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager は全てのスロットを検出します。</p>
<p>1 つのスロットのみ使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>または</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>または</p> <p>スロット 3 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager はどちらのスロットが使用されているか検出します。</p>
<p>スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 4 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p> <p>スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager はスロット 5 のみを検出します。</p>
<p>スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 4 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 5 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p>	<p>Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。</p>

スロット	Cisco UCS Manager 管理
スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。 スロット 4 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ	Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。
1 つのスロットのみ使用されています。 スロット 4 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ または スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ	Cisco UCS Manager はどちらのスロットが使用されているか検出します。



(注) Cisco VIC 1495 は Cisco UCS 6300 シリーズ ファブリック インターコネクトでのみサポートされています。

## C240 M6 サーバの混合 VIC セットアップ用 Cisco UCS Manager 管理

Cisco UCS Manager は、Cisco UCS C240 M6サーバ および 混合 VIC カードのによるセットアップを完全にはサポートしていません。

表 7: Cisco UCS Manager 管理

スロット	Cisco UCS Manager 管理
スロット 1 およびスロット 2 の両方が使用されています。 スロット 1 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ	Cisco UCS Manager はスロット 2 のみを検出します。

スロット	Cisco UCS Manager 管理
<p>スロット 1 およびスロット 2 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p>	<p>Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。</p>
<p>スロット 1 およびスロット 2 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。</p>
<p>1 つのスロットのみ使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>または</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager はどちらのスロットが使用されているか検出します。</p>
<p>スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 4 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p> <p>スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager はスロット 5 のみを検出します。</p>
<p>スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 4 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 5 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p>	<p>Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。</p>

スロット	Cisco UCS Manager 管理
スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。  スロット 4 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ  スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ	Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。
1 つのスロットのみ使用されています。  スロット 4 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ  または  スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ	Cisco UCS Manager はどちらのスロットが使用されているか検出します。



(注) Cisco VIC 1495 は Cisco UCS 6300 シリーズ ファブリック インターコネクトでのみサポートされています。

## C225 M6 サーバーでの混合 VIC セットアップのための Cisco UCS Manager 管理

Cisco UCS Manager は、Cisco UCS C225 M6サーバ および 混合 VIC カードのによるセットアップを完全にはサポートしていません。

表 8 : Cisco UCS Manager 管理

スロット	Cisco UCS Manager 管理
スロット 1、スロット 2、およびスロット 3 が使用されています。  スロット 1 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495  スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ  スロット 3 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ	Cisco UCS Manager はスロット 2 のみを検出します。

スロット	Cisco UCS Manager 管理
<p>スロット 1、スロット 2、およびスロット 3 が使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p> <p>スロット 3 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager は全てのスロットを検出します。</p>
<p>スロット 1、スロット 2、およびスロット 3 が使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 3 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager は全てのスロットを検出します。</p>
<p>1 つのスロットのみ使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>または</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>または</p> <p>スロット 3 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager はどちらのスロットが使用されているか検出します。</p>
<p>スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 4 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p> <p>スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager はスロット 5 のみを検出します。</p>

スロット	Cisco UCS Manager 管理
<p>スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 4 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 5 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p>	Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。
<p>スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 4 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。
<p>1 つのスロットのみ使用されています。</p> <p>スロット 4 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>または</p> <p>スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	Cisco UCS Manager はどちらのスロットが使用されているか検出します。

## C245 M6 サーバーでの混合 VIC セットアップのための Cisco UCS Manager 管理

Cisco UCS Manager は、Cisco UCS C245 M6サーバ および 混合 VIC カードのによるセットアップを完全にはサポートしていません。



表 9 : Cisco UCS Manager 管理

スロット	Cisco UCS Manager 管理
<p>スロット 1 およびスロット 2 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	Cisco UCS Manager はスロット 2 のみを検出します。
<p>スロット 1 およびスロット 2 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p>	Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。
<p>スロット 1 およびスロット 2 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。
<p>1 つのスロットのみ使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>または</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	Cisco UCS Manager はどちらのスロットが使用されているか検出します。
<p>スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 4 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p> <p>スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	Cisco UCS Manager はスロット 5 のみを検出します。

スロット	Cisco UCS Manager 管理
スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。 スロット 4 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ スロット 5 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495	Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。
スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。 スロット 4 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ	Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。
1 つのスロットのみ使用されています。 スロット 4 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ または スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ	Cisco UCS Manager はどちらのスロットが使用されているか検出します。



(注) Cisco VIC 1495 は Cisco UCS 6300 シリーズ ファブリック インターコネクトでのみサポートされています。

## 管理接続ポリシーと接続モード

Cisco UCS ドメインの C シリーズ ラックマウント サーバに対する物理接続を確立する場合は、Cisco UCS Manager GUI または Cisco UCS Manager CLI で接続モードと管理ポリシーを指定する必要があります。管理ポリシーは、接続されているすべての C シリーズ ラックマウント サーバに対してグローバルです。接続モードにより、Cisco UCS Manager でのラック サーバの検出方法が決まります。

ラック サーバには、次のいずれかの接続ポリシーを指定できます。

- **自動確認**：これは C シリーズ ラックマウント サーバに推奨されるデフォルトの接続モードです。接続モードが自動確認の場合、Cisco UCS Manager は、物理接続が確立されると

すぐにラックサーバを検出し、指定された管理ポリシーに基づいてサーバの管理を開始します。

- **ユーザー確認**：接続モードがユーザー確認の場合、物理接続を確立後、手動で接続を確認し、Cisco UCS Manager GUI または Cisco UCS Manager CLI で接続モードを指定して、検出を開始する必要があります。Cisco UCS Manager は、ユーザーが接続モードを指定するまで、C シリーズ ラックマウント サーバの検出を開始しません。詳細な手順については、[接続モードの手動認識：GUI](#) または [接続モードの手動認識：CLI](#) を参照してください。



- (注) Cisco UCS Manager によってラックサーバが検出され、管理されている場合、1 台の C シリーズ ラックマウント サーバの既存の接続モードを変更するには、そのサーバを停止してから再起動して、新しい接続モードを指定する必要があります。Cisco UCS Manager は、その時初めて、新しい接続モードでサーバを検出できるようになります。

## C シリーズサーバと Cisco UCS ドメインとのクラスタ セットアップでの接続

始める前に



**重要** Cisco UCS Manager と統合するには、サーバの Cisco IMC が工場出荷時の設定に設定されていることを確認してください。

- FI ポートがサーバポートとして設定されていることを確認します。設定されていない場合は、Cisco UCS Manager GUI を使用して、サーバポートとして再設定します。
- サーバを接続する前に、Cisco UCS Manager との統合用の正しいスロットに Cisco UCS VIC が装着されていることを確認します。カードが正しいスロットに装着されていない場合、サーバの直接接続管理を有効にできません。

**ステップ 1** ラックにサーバを設置します。使用しているサーバの『*Install and Upgrade Guide*』を参照してください。インストールガイドは、次の URL から入手できます。 [Install and Upgrade Guides](#)

**ステップ 2** FI でサーバポートを設定します。

**ステップ 3** Cisco UCS VIC アダプタからのパスを FI のサーバポートに接続します。

- a) サーバと FIA の 1 つのポートの間をサポートされている 1 本の SFP ケーブルで接続します。FIA の任意のポートを使用できますが、サーバトラフィックに対応可能なポートである必要があります。

VIC から 1 本のケーブルを 1 枚のカードの FI に接続します。両方のポートを同じ FI に接続することはできません。

- b) サーバと FIB の 1 つのポートの間をサポートされている 1 本の SFP ケーブルで接続します。FIB の任意のポートを使用できますが、サーバトラフィックに対応可能なポートである必要があります。

- (注)
- アップリンクで SFP タイプを混在使用しないでください。混在させると、「Discovery Failed」エラーが表示されます。
  - C シリーズの統合のネットワーク トポロジとケーブル接続の詳細については、「[ネットワーク トポロジとサポート対象ケーブル](#)」の項を参照してください。

ステップ 4 電源コードをサーバの各電源装置に接続し、次に接地された AC 電源コンセントにコードを接続します。

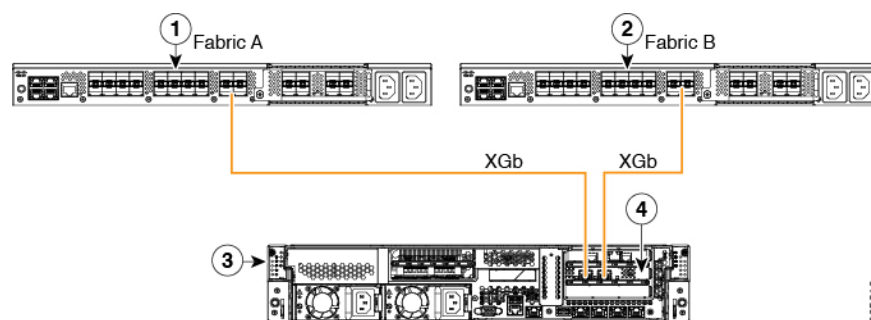
電源を入れるとサーバ ディスカバリが開始されます。

## 直接接続モードのクラスタ セットアップの物理的な接続の図

次の図は、C シリーズ ラックマウント サーバと Cisco UCS ドメイン、Cisco UCS Manager リリース 3.1 以降との直接接続モードの物理接続の例を示しています。次の図は、C シリーズ ラックマウントサーバと Cisco UCS Manager を統合する場合の配線構成を示しています。ゴールドで示されたパスでは、管理トラフィックとデータ トラフィックの両方が伝送されます。

示されている図は、例としてのみ示しています。機器設定は、サーバー、FI と FEX によって変わります。

図 1: 直接接続ケーブル配線の設定



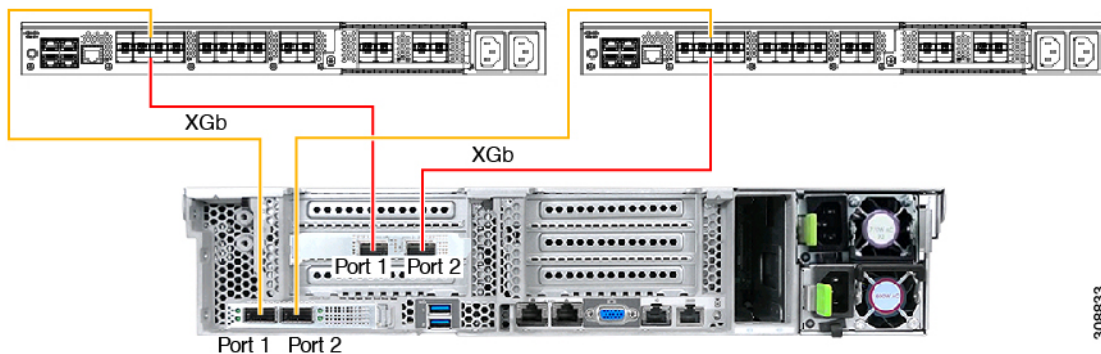
C シリーズ ラックマウント サーバ上の Cisco IMC は、最初のアダプタを管理およびデータ接続に使用し、2 番目のアダプタをデータ接続にのみ使用します。ラックサーバ上のすべての仮想インターフェイスは、両方のファブリック インターコネクトアダプタに接続する必要があります。異なる設定では、特定の設定が必要です。詳細な手順については、該当する *C-Series Integration Guide* の「*Direct Connect Mode Cluster Setup*」の物理接続の図の項に記載されている情報を使用してください。

次の図は、UCS Manager とデュアル Cisco VIC アダプタを持つ C シリーズ ラックマウントサーバを統合する場合の配線構成を示しています。最初のアダプタは管理専用として構成可能で、

2 番目のアダプタはデータ トラフィックのみとして構成できます。金色のパスは管理を伝送し、赤色のパスはデータ トラフィックを伝送します。

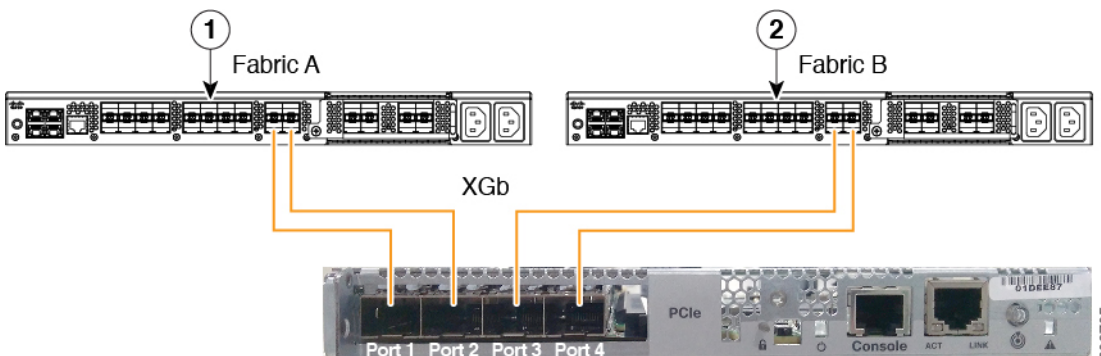
異なるサーバでは、管理用に異なるスロット位置が必要です。適切な C シリーズ ラックサーバの仕様書を参照して、ネットワーク通信サービスインターフェイス プロトコル サポート (NCSI) を持つスロットを見つけ、管理として使用します。

図 2: デュアル アダプタの直接接続の配線設定



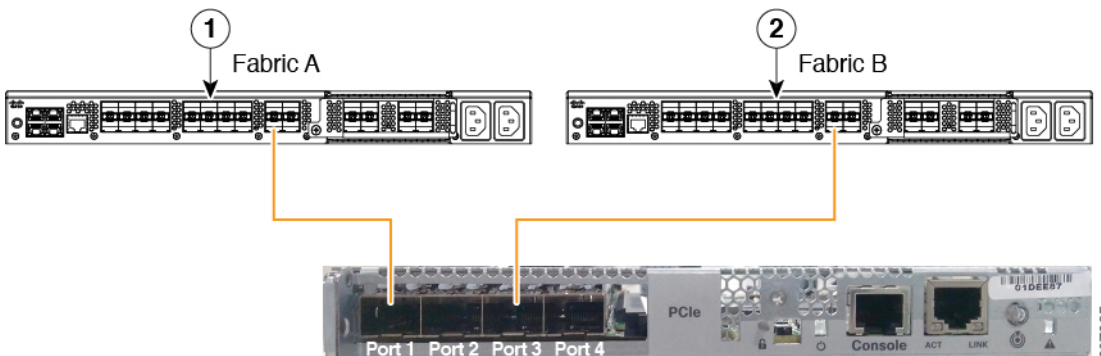
308833

図 3: Cisco VIC 1455 との直接接続の配線構成 (4 ポートリンク)



306705

図 4: Cisco VIC 1455 との直接接続の配線構成 (2 ポートリンク)



307325

VIC



(注) ポート 1 とポート 2 (3 および 4) の間の接続は内部ポートチャネルを形成するため、ポート 1 および 3 が使用されます。



注意 ポート 1 をファブリック インターコネクタ A、ポート 2 をファブリック インターコネクタ B に接続しないでください。ポート 1 および 3 のみを使用してください。ポート 1 とポート 2 のみを使用すると、検出や設定に失敗します。

XGb は 40 ギガビット イーサネット接続または 10 ギガビット イーサネット接続を表します。10 ギガビット イーサネットの場合、次のケーブルが使用されます。

- 4 X 10 ブレークアウト Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル
- 4 X 10 アクティブ光ケーブル (OAC)
- Qualified Security Assessor (QSA) モジュールを使用する 10G Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル

1	Cisco UCS 6536 ファブリック インターコネクタまたは、Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクタまたは、Cisco UCS 6200 シリーズあるいは、6300 FI (ファブリック A)	3	C シリーズ ラックマウント サーバ
2	Cisco UCS 6536 ファブリック インターコネクタまたは、Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクタあるいは、Cisco UCS 6200 シリーズまたは 6300 FI (ファブリック B)	4	サポート対象 PCIe スロット内の Cisco UCS VIC

XGb は 40 ギガビット イーサネット接続または 10 ギガビット イーサネット接続を表します。10 ギガビット イーサネットの場合、次のケーブルが使用されます。

- 4 X 10 ブレークアウト Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル
- 4 X 10 アクティブ光ケーブル (OAC)
- Qualified Security Assessor (QSA) モジュールを使用する 10G Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル

1	、Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクタまたは Cisco UCS 6200 シリーズまたは 6300 FI (ファブリック A)	3	C シリーズ ラックマウント サーバ
---	---	---	--------------------

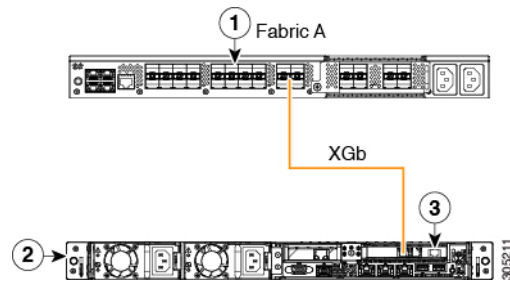
2	、Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクトまたはCisco UCS 6200 シリーズまたは 6300 FI (ファブリック B)	4	サポート対象 PCIe スロット内の Cisco UCS VIC
---	--	---	----------------------------------

## C シリーズサーバと UCS ドメインとの非クラスタ セットアップでの接続

非クラスタセットアップで、C シリーズサーバと UCS ドメインを接続する場合は、[C シリーズサーバと Cisco UCS ドメインとのクラスタセットアップでの接続 \(19 ページ\)](#) で説明されているのと同じ手順を実行します。ただし、クラスタセットアップのように、2 つの FI を使用して 2 本のケーブルを接続する代わりに、1 つの FI と 1 本のケーブルのみをアダプタに接続します。

図 5: 直接接続モードの非クラスタ セットアップの物理的な接続の図

次の図は、サーバと Cisco UCS Manager を統合する場合の配線構成を示しています。ゴールドで示されたパスでは、管理トラフィックとデータトラフィックの両方が伝送されます。



(注) XGb は 40 ギガビットイーサネット接続または 10 ギガビットイーサネット接続を表します。10 ギガビットイーサネットの場合、次のケーブルが使用されます。

- 4 X 10 ブレークアウト Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル
- 4 X 10 アクティブ光ケーブル (OAC)
- Qualified Security Assessor (QSA) モジュールを使用する 10G Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル

1	Cisco UCS 6200 シリーズまたは 6300 FI (ファブリック A)	2	C シリーズラックマウントサーバ
		3	サポート対象 PCIe スロット内の Cisco VIC。

## Physical Connectivity Illustrations for Direct Connect Mode Non-Cluster Setup

次の図は、CシリーズラックマウントサーバとCisco UCSドメイン、Cisco UCS Managerリリース3.1以降との直接接続モードの物理接続の例を示しています。次の図は、CシリーズラックマウントサーバとCisco UCS Managerを統合する場合の配線構成を示しています。ゴールドで示されたパスでは、管理トラフィックとデータトラフィックの両方が伝送されます。

与えられた画像は、例としてのみ使用されます。機器設定は、サーバー、FIとFEXによって変わります。

次の図は、Cisco UCS VIC 1455に記載されています。ポート接続は、Cisco UCS VIC 1457、VIC 1467およびVIC 15428で同じままです。

図 6: Cisco VIC 1455/1457 (単一ケーブル構成) との直接接続の配線構成

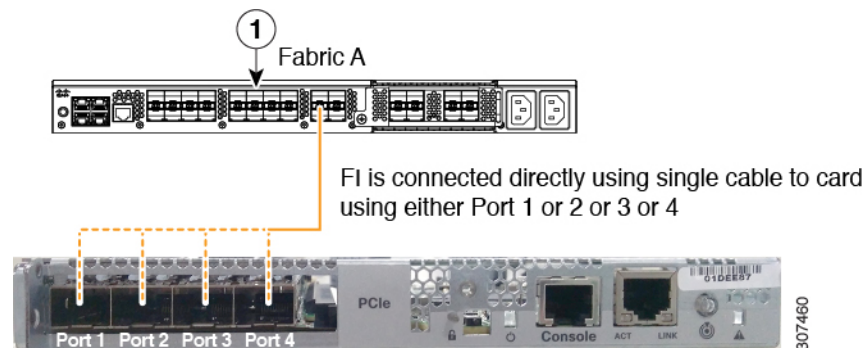
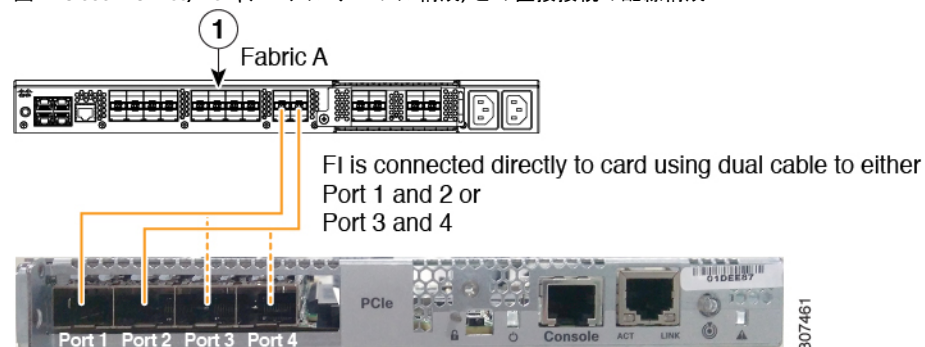


図 7: Cisco VIC 1455/1457 (デュアルケーブル構成) との直接接続の配線構成



XGbは40ギガビットイーサネット接続または10ギガビットイーサネット接続を表します。10ギガビットイーサネットの場合、次のケーブルが使用されます。

- 4 X 10 ブレークアウト Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル
- 4 X 10 アクティブ光ケーブル (OAC)
- Qualified Security Assessor (QSA) モジュールを使用する 10G Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル



# SingleConnect から直接接続モードへの C シリーズ サーバの移行

この移行手順を実行する前に、Cisco UCS Manager GUI の [Global Policies] ページで、[**Rack Discovery Policy**] と [**Rack Management Connection Policies**] を [**Immediate**] や [**Auto Acknowledge**] などのデフォルトに設定してください。そうすることで、サーバを FI に直接接続すると、すぐにそのサーバが検出され、ユーザの操作を待たずに、Cisco UCS Manager によるサーバの管理が開始されます。



**注意** SingleConnect FEX 接続から直接接続への移行は、中断の生じるプロセスです。この移行は、スケジュールされた停止時間内に行ってください。この手順は、完了するまで 15 ~ 20 分かかる場合があります。

**ステップ 1** FI でサーバ ポートを設定します。

**ステップ 2** FEX からケーブルを外して、ファブリック インターコネクトで設定されたサーバ ポートに接続します。

**ステップ 3** Cisco UCS Manager GUI でサーバを右クリックして、ポップアップメニューから [**Recover Server**] または [**Server Maintenance**] を選択します。

**ステップ 4** [Re-acknowledge] クリックして、[OK] を選択します。

これでサーバが再起動します。

サーバを再起動したら、通常の運用を再開できます。

# デュアルワイヤ管理から直接接続モードへの C シリーズ サーバの移行

この移行手順を実行する前に、Cisco UCS Manager GUI の [Global Policies] ページで、[**Rack Discovery Policy**] と [**Rack Management Connection Policies**] を [**Immediate**] や [**Auto Acknowledge**] などのデフォルトに設定してください。そうすることで、サーバを FI に直接接続すると、すぐにそのサーバが検出され、ユーザの操作を待たずに、Cisco UCS Manager によるサーバの管理が開始されます。

**注意**

- デュアルワイヤ FEX 接続から直接接続への移行は、中断の生じるプロセスです。この移行は、スケジュールされた停止時間内に行ってください。この手順は、完了するまで 15~20 分かかる場合があります。
- 移行を実行する前にサーバを停止する必要があります。

デュアルワイヤ管理モードで接続されているサーバに対して直接接続モードを有効にするには、アダプタを変更する必要があります。アダプタを変更すると、ベアメタル Windows システムの PCIe の番号付けに影響を与えることがあります。OS にリストされているアダプタを変更すると、それらはアダプタ 3 と 4 になります。スタティック アドレスを使用している場合は、サーバから前のアダプタを取り外す必要があります。詳細については、<http://support.microsoft.com/kb/269155> を参照してください。

**ステップ 1** FI でサーバポートを設定します。

**ステップ 2** サーバの稼働を中止する。

**ステップ 3** Cisco UCS VIC 1225、Cisco UCS VIC 1227、Cisco UCS VIC 1385、または Cisco UCS VIC 1455 を使用していない場合は、サーバで Cisco UCS VIC を物理的に変更します。

- a) サーバの背面から、電源ケーブル、Management LOM と SFP Twinax 接続ケーブルを外します。
- b) サーバをスライドしてラックから外し、上部カバーを取り外します。
- c) PCIe ライザカードをスロットから外し、既存のアダプタを取り外して、Cisco UCS VIC 1225 を装着します。
- d) PCIe ライザカードをスロットに再度装着し、上部カバーをサーバに戻し、サーバを押してラックに戻します。
- e) (任意) デュアルワイヤモードで、FEX をサーバに接続する必要がなくなった場合は、FEX を Cisco UCS Manager から外し、電源を入れて、ラックサーバから FEX を取り外します。

**ステップ 4** Cisco VIC のポートから FI のポートに SFP Twinax ケーブルを接続します。

**ステップ 5** サーバに電源ケーブルを再度接続します。

CIMC がスタンバイになるので、サーバの電源を入れる必要はありません。

**次のタスク**

Cisco UCS Manager GUI からサーバを再コミッションします。再起動が完了すると、サーバが運用可能になり、サービス プロファイルをサーバに適用できます。

## 統合後の Cisco UCS Manager でのラックマウント型サーバの管理

Cisco UCS ドメイン と統合されているすべてのラックマウント サーバを、Cisco UCS Manager によって管理し、モニタリングできます。統合後は、ラックマウントサーバの管理タスクはすべて Cisco UCS Manager GUI または Cisco UCS Manager CLI のサービス プロファイルからのみ実行します。Cisco UCS Manager によるサーバの管理を開始すると、C シリーズ ラックマウントサーバ Cisco IMC は使用できなくなります。

Cisco UCS Manager は、検出された各ラックマウントサーバに関する情報、エラー、および障害を提供します。

Cisco UCS Manager からの C シリーズ ラックマウントサーバ C-Series Rack-Mount Servers の管理の詳細については、使用しているリリースの『[Cisco UCS Manager Configuration Guide](#)』の「Managing Rack-Mount Servers」の章を参照してください。

## サーバを Cisco UCS ドメイン モードからスタンドアロンモードへ戻す方法

Cisco UCS Manager ソフトウェアを使用して Cisco UCS C シリーズ サーバを管理すると、そのサーバに UCS Manager サービス プロファイルが関連付けられます。C シリーズ サーバをスタンドアロンモードに戻す（すなわち Cisco IMC ソフトウェアで管理できるようにする）場合は、UCS Manager で次の処理を行う必要があります。

- ステップ 1 サーバへの UCS Manager サービス プロファイルの関連付けを解除する。
- ステップ 2 アダプタからの接続を削除します。
- ステップ 3 手動でサーバの電源オンします。
- ステップ 4 前面パネル KVM 接続を接続します。
- ステップ 5 ブート中にアップ **F8** キーを押します。
- ステップ 6 CIMC を工場出荷時の初期状態またはスタンドアロンモードにリセットします。

**注意** サーバへのサービス プロファイルの関連付けを解除しなかった場合、UCS Manager によって割り当てられた MAC および WWN 番号が引き続きサーバで維持されることがあります。これによって番号付けが重複し、UCS Manager で管理されている他のサーバとの間で競合が生じる可能性があります。さらに、サービス プロファイルの関連付けを解除せずにサーバをスタンドアロンモードに戻した場合、そのスタンドアロンサーバでは LSI RAID コントローラがブート可能デバイスとして表示されないため、ローカルでの再起動ができなくなります。

## 統合型サーバに関する特記事項

Cisco UCS システムの C シリーズ サーバに接続する場合は、次の点を確認してください:

- [VIC 1455、VIC 1457 または VIC 1467 アダプタと UCS 6300 ファブリック インターコネク ト間の単一リンク ポート チャンネル \(28 ページ\)](#)

### **VIC 1455、VIC 1457 または VIC 1467 アダプタと UCS 6300 ファブリック インターコネク ト間の単一リンク ポート チャンネル**

Cisco UCS Manager リリース 4.0(1a) 以降では、UCS 6300 シリーズ ファブリック インターコネク トに直接接続しているラックサーバ上で、VIC 1455、1457 または 1467 アダプタ間の単一リンク ポート チャンネルのみサポートしています。

VIC 1455、1457 または 1467 アダプタおよび UCS 6300 シリーズ ファブリック インターコネク ト間に、2 個目のポート チャンネル リンクを追加しないでください。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。